

アオイトトンボ

澄川森林の苗圃で小型のイトトンボに気づきました。2017年7月11日12時17分の記録でした(下の写真左)。もしやカラカネイトトンボかも、と思いましたので、樞棒さんをお願いして、2月に講演していただいた小本智幸氏に画像をメールで送信し鑑定していただきました。結果はアオイトトンボみではないかとのこと。残念。

7月14日の活動日では昼食談話中に佐野さんに呼ばれまして、トラロープに止まっているイトトンボを指さしてくれましたので、素手で捕まえました。側面の状態も確認できました。さらにピン트가比較的会った画像も撮れました(写真右)。



アオイトトンボである証拠はこの2点の画像に共通の姿にありました。止まった状態で翅を半開きにしています。これで決まりでした。カラカネイトトンボは静止の場合翅を背中合わせに閉じます。大きさも気持ちカラカネよりも大きい感じでした。♀は少し色違いのようですが、この2回の活動日での観察では見かけませんでした。

分布は広く、ヨーロッパ、ロシア、中国、朝鮮半島。日本では北海道、本州、四国、九州では南にかけて分布濃度が薄くなり、西南諸島には棲息しないとのこと。珍種ではありませんでした。



念のため、カラカネイトトンボの写真(左)をご覧ください。体の形や色遣いはよく似ていますが、翅の閉じ方が背中合わせです。